

令和 7 年度 第 3 回
栃木西部地域会議会議録

令和 7 年 6 月 1 7 日 (火)
栃木市皆川公民館 大研修室

栃木西部地域まちづくりセンター

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第3回栃木西部地域会議
開催日時	令和7年6月17日（火）19時00分 開会 20時10分 閉会
開催場所	皆川公民館 大研修室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	1人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	<u>1 開会</u> — 開会 — <u>2 あいさつ</u> — 峰岸会長あいさつ —
	<u>3 議事</u> (1) 令和8・9年度実施 地域予算提案事業案について ①地域課題について ・前回会議のグループワークで出た地域課題について、どこをまたは何をどうすれば解決に繋がるかを考え、グループ（3地区混成・3グループ）で意見交換をする。 — 資料1に基づいて説明 — — グループワーク —
事務局	
A班	1. 地域課題と解決策の案を書き出す（個人作業） 2. グループで意見交換 3. 全体に向け、グループでの意見交換の内容を発表 ・西部地域には多くの史跡・旧跡・名所があるが、一般にあまり知られていない。 今日、他市でのロゲイニングによる観光名所めぐりの企画をテレビで見た。観光名所を巡ると得点がもらえ、時間内に多くの名所を巡りその得点を競うというもの。他県からも参加者が来ているようだった。 PRの仕方でも多くの方に参加してもらえ、西部地域の史跡・旧跡・名所を知ってもらえる機会になるのでは。

B 班	・課題としては、皆川城址の活用について。イルミネーションもきれいで、文学としても皆川城址が取り上げられた作品が芥川賞候補にもなっているので、もっと世間にアピールできないか。 - 例えば子どもたちが集まれるよう、公民館横の広場に遊具を設置したり、史跡なので難しいかもしれないが、ハイキングコースを整備するなどして、人がもっと集まるようにできたらいいと思う。 ・桜並木があるが、老木化が進んでいる。木が大きく素人では対応できないので、市の予算を使って整備できないか。 ・若い人の地域への参画について、まずこの地域会議に若い人をもっと入れるべき。若い人がいない会議での意見では、若い人は自分たちの問題として考えないと思う。 ・少子高齢化が課題として挙げられるが、何とかしようとしても解決することができない課題なので、その少子高齢化を課題としないような仕組み作りが必要。先進地の取組みを参考にしながら、少子高齢化でも住みやすい地域を作る必要がある。 ・栃木市全体としては、栃木市と栃木シティフットボールクラブの連携を強化して欲しい。うまくいけば若い人たちがもっと集まるのではないかと思う。
C 班	・皆川城址について、皆川広照を紹介してもっと盛り上げることができないかという意見があった。栃木城址を盛り上げたい方々と連携し、歴史の講座やウォーキング大会などのイベントを開催したらどうか。 ・空き家が増えていることについて。空き家バンクだけでなく、空き家が老朽化する前にリフォームを進めて他の地域からの移住を促進したり、空き家になる前に対応できるよう行政でガイドラインを作成する、また、空いている土地を公共団体へ預託して活用してもらうなどの意見があった。 ・各種団体のなり手不足や次の世代へどう引き継いでいくのかということについて、各地域に団体が多いため、改めて団体の存在意義を見直し、再編をしていく必要があるのではないか。 ・岩舟の小野寺小学校の事例として、小学校 6 年生の授業に地域の方が出向いて地域での仕事や役割等を話したり、小学生が地域に出向き地域の方から話を聞いたりしてその地域のことをまとめて、地域の方に向けた発表会をしたとのこと。子どもたちが自分の地域のことについて知る機会にもなり、保護者世代が子どもたちの発表を聞いて自分の地域に目を向ける機会にもなるのではないか。
事務局	— グループワーク終了 —
	・今後は 2 回のグループワークで出た課題等について、西部地域会議としてどう考えていくかということで進めていく。

会長	②継続的事業・緊急的事業について ・前回の会議で、今回の会議では令和８年度にも継続して実施したい事業や、緊急的に実施したほうがいいのかと思われる事業について検討するとしていた。 ・案として、平成３０年度から継続的に実施している「熟くり塾」まちづくり塾開催事業を令和８年度も実施したいと考えているが、いかがか。 ―異議なし― ・まちづくり塾開催事業を今秋に提案する方向で進めることとする。
事務局	<u>５ その他</u> ・栃木市自治会公民館建築費等補助金交付要綱の一部改正について ・地域政策課より情報提供。 ・自治会公民館建築費等補助金は、自治会の公民館の新築、改築、増築、改修及び補修等に要する１００万円以上の工事費の一部を助成するものだが、その補助対象、補助率、再交付に係る規定について改正があった。 ・詳しくは資料４を確認のうえ、不明な点は担当課または公民館へ問い合わせいただきたい。 ・栃木西部地域会議だより第２０号の発行について ・資料５のとおり７月発行の広報とちぎに折込みで栃木西部地域に全戸配付予定。 ・内容に修正等ある場合は、６月１９日までに吹上公民館へ報告いただきたい。
副会長Ａ	・栃木西部地域の中学校の統合に関して提案。 ・北中学校の校歌を作ってくれる半崎美子氏が６月５日に３校を訪問し、生徒から校歌についての意見を聞いたり、交流をしたりした。 ・栃木西部地域会議として、これまでも中学校の統合に関しては地域の課題として考えてきた。 ・地域として中学校の統合をあたたかく迎え入れるということで、栃木西部地域内の防災無線で新しい校歌を流せるよう、市へ要望したい。 ・期間は、４月１日の開校宣言から開校式までの１週間程度。例えば１７時に流れている栃木市歌をその期間だけ新しい校歌に差替えてもらうなどを想定している。 ・委員の皆さんの賛成が得られれば、栃木西部地域会議として市へ要望書を提出したいと考えているがいかがか。 ―異議なし―
会長	・栃木西部地域会議として市へ要望書を提出するというので、事務局は手続きを進めること。
事務局	・第４回栃木西部地域会議について

	・令和7年7月15日（火）19時から吹上公民館にて開催予定。 <u>5 閉会</u> —— 以上、何も無いことを確認 —— —— 閉会 —— （会議終了時刻 20時10分）
--	---

別紙 1 出席者及び事務局

＜出席者（委員）＞

会 長	峰岸 晃一	副会長	鈴木 加織
副会長	酒巻 幸夫	委 員	宇賀神 一成
委 員	早乙女 利春	委 員	宇佐見 まり子
委 員	蓼沼 善雄	委 員	寺内 浩一
委 員	小澤 敏子	委 員	赤羽根 則男
委 員	大橋 利一郎	委 員	中村 絹江
委 員	篠崎 正直		
委 員	門沢 イミ子		

＜欠席者（委員）＞

委 員 飯塚 知実

＜事務局＞

宮田 若美	(吹上公民館長兼栃木西部地域まちづくりセンター所長)
佐藤 優	(皆川公民館館長)
成松 興次	(寺尾公民館館長)
石原 睦月	(吹上公民館主査)

別紙２ 会議事項及び配付資料一覧

〈会議事項〉

１ 開会

２ あいさつ

３ 議 事

(1) 令和８・９年度実施 地域予算提案事業案について

①地域の課題について

②継続的事業・緊急的事業について

４ その他

- ・ 栃木市自治貴公民館建築費等補助金交付要綱の一部改正について
- ・ 地域会議だより第２０号の発行について
- ・ 第４回栃木西部地域会議について

５ 閉会

〈配布資料一覧〉

- ・ 地域予算提案事業 スライド資料 資料１
- ・ 第２回地域会議グループワーク「地域課題の共有」まとめ 資料２
- ・ 栃木西部地域会議 地域予算事業の実施実績（一覧表） 資料３
- ・ 栃木西部熟くり塾 開催実績 資料３
- ・ 自治会公民館建築費等補助金の対象を拡大しました 資料４
- ・ 栃木西部地域会議だより第２０号 資料５